

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	大塚地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
愛知県蒲郡市	230006	1	平成23年度～ 平成27年度	平成23年度～ 平成27年度
活性化計画の区域				
愛知県蒲郡市 大塚千尾地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保	8.3ha	8.6ha	104	

(コメント)

目標値に対して100%以上の達成ができています。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
区画整理	区画整理 8.4ha		蒲郡市土地改良区
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
蒲郡市土地改良区	平成23年度	平成27年度	平成28年3月
事業の効果			
本事業で農用地の区画整理及び農業用排水施設等の整備を行った。これにより、農業生産性の向上や優良農地の保全といった農業構造の改善や労力及び維持管理費の節減が図られた。			

3 総合評価

(コメント)

平成27年度に計画どおり事業が完了し、事業活用活性化計画目標については、定住等の促進に資する農業用排水施設等の機能の確保という目標が達成できた。これにより、農業生産性が向上し効率的な農業経営が可能となることで、地域の活性化を図ることができた。

4 第三者の意見

評価者：蒲郡市農業委員会 会長 坂部 哲雄

(コメント)

当地区は、区画も小さく農道も狭かったため必要以上の労力を必要としていた。事業で区画整理と用排水の整備、農作業道路を整備することにより、農作業の負担軽減による生産性の向上と後継者不足の問題も解消するのではないかと思われる。

【 記入要領 】

- (1) 計画主体コード、計画番号は年度別事業実施計画に記入した番号とすること。
- (2) 「1 事業活用活性化計画目標の達成状況」のコメントには、目標が未達成となった場合は、その理由を記入すること。また、達成状況が低調である場合は実施要綱第8の2の(1)及び(2)に基づき改善計画を作成し、農林水産大臣に提出すること。
- (3) 「2 目標達成のために実施した各事業の内容と効果」は事業メニュー毎に作成すること。また、「事業の効果」には事業の実施により発現した効果(農山漁村の活性化に関連する効果)を幅広く記入すること。